

インフォシス BPM、財務・会計サービスを革新する AI エージェントを発表

**Agentic の AI を搭載した新しいソリューションは、
大幅な効率化、精度の向上、ユーザーエクスペリエンスの改善により、買掛金業務を再定義**

インド、ベンガルール - 2025 年 5 月 30 日

[インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE : INFY) のビジネスプロセス管理部門である [インフォシス BPM](#) は本日、主力ソリューションである [Infosys Accounts Payable on Cloud](#) の請求書処理に AI エージェントを導入することを発表しました。[Infosys Topaz](#) を搭載したこのイノベーションは、人による AI サポートモデルから、より高い効率性と正確性を保証する自律的な AI ファーストアプローチに移行することで、請求書処理を再定義します。

自律的に動作するように設計されたこのソリューションは、高度な意思決定能力を備えた AI エージェントを活用し、複雑なビジネスシナリオを正確かつ迅速に処理します。自律的な AI ファーストのアプローチは、エンドツーエンドのワークフロー管理を可能にし、AI エージェントがダイナミックなプロセスを処理し、変化するビジネスロジックに適応し、人間の監視を最小限に抑えて複雑なタスクを実行することを可能にします。新しい Agentic の AI を搭載したクラウド型買掛金ソリューションは、業務効率を大幅に向上させ、企業が迅速かつ効果的に拡張できるようにすることを目的としています。[マイクロソフトの AI スタック](#) を搭載したこのソリューションは、[Azure AI Foundry](#) やその他の LLM とカスタム AI エージェントを組み合わせている。Cognitive Services と Azure の Platform-as-a-Service (PaaS) の統合により、スケーラブルでインテリジェントなエンタープライズ対応 AI ソリューションの提供が可能になります。

このソリューションは、中東、北アフリカ、カザフスタンで 2,600 店舗以上を展開する外食・クイックサービスレストラン最大手の Americana Restaurants 社と緊密に協力して開発されました。Infosys BPM は、Accounts Payable on Cloud ソリューションの Americana 社への導入の成功に基づき、Agentic AI を統合して請求書処理をほぼ自律化し、効率性と正確性をさらに向上させます。

Americana Restaurants の最高財務責任者兼最高成長責任者である Harsh Bansal 氏は、次のように述べています。「Americana Restaurants では、デジタルトランスフォーメーションをリードすることに

全力を注いでおり、事業を拡大する中で、インテリジェントな自動化は、より高い効率性と俊敏性を実現するための鍵となります。AI を搭載した Infosys Accounts Payable on Cloud により、請求書処理の迅速化、正確性の向上、効率化を実現しました。さらに Agentic AI を追加することで、手作業による依存を減らし、請求書処理にインテリジェンスと自律性をもたらします。私たちは、インフォシスとともにこのイニシアチブを開拓できたことを喜ばしく思っており、インフォシス BPM と緊密に協力して、よりスマートで俊敏な業務の未来へと私たちを導いてくれることを期待しています」

マイクロソフトの GSI、ESI、アドバイザー担当グローバルリーダーであるスティーブン・ボイル氏は、「インフォシス BPM がクラウド上の買掛金ソリューションにマイクロソフトの AI エージェントを導入し、複雑なワークフローを合理化し、重要なビジネスオペレーションを強化する AI の能力を示したことを称賛します。このイノベーションは、インフォシスの変革の可能性を強調し、将来のビジネスの成功を促進するインテリジェントな自動化の舞台を整えるものです」と述べています。

インフォシス BPM の CEO 兼マネージングディレクターであるアンタナ・ラダクリシュナン、は次のように述べた。「Infosys Accounts Payable on Cloud ソリューションに Agentic AI を導入することで、財務・会計機能領域における可能性を再定義しています。Infosys Topaz 専用設計のマルチエージェント フレームワークとマイクロソフトの AI スタックと統合することで、自律性を備え、変化に迅速に対応し、進化を続けるソリューションを開発しました。これは、当社が世界中の企業に比類ないビジネス価値を提供するためのイノベーションの先駆者としてのコミットメントを体現しています。」

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人を超える社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、ビジネス、コミュニティのために次の機会を創造するために働いています。インフォシスは、56 カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40 年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドと AI を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的に行います。私たちは、AI ファーストのコアでお客様を支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、私たちのイノベーション・エコシステムからデジタル・スキル、専門知識、アイデアを移転することで、常時オン・ラーニングによる継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材がインクルーシブな職場で活躍する、統率のとれた環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

www.infosys.com、インフォシス（NSE、BSE、NYSE: INFY）が御社の次のナビゲーションをどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

セーフハーバー

本リリースに記載されている当社の将来的な成長見通し、または将来の財務・業績に関する記述は、1995年米国私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に基づく「セーフハーバー（免責条項）」の適用を目的とした将来見通しに関する記述であり、実際の結果や業績がかかる将来見通しに関する記述と大きく異なる可能性のある多くのリスクや不確実性を伴います。これらの記述に関連するリスクと不確実性には、当社の事業戦略の実行に関するリスクと不確実性（）、人材獲得競争の激化、人材を引き付け維持する能力、賃金の上昇、従業員の再教育のための投資、ハイブリッド・ワークモデルを効果的に導入する能力、経済の不確実性、地理的政治情勢などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。技術的混乱とジェネレーティブ AI などのイノベーション、移民規制の変更を含む複雑で進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、当社の市場での地位、将来の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含むコーポレートアクション、サイバーセキュリティに関する期待。将来の見通しに関する記述によって示唆されるものとは異なる実際の結果や成果をもたらす可能性のある重要な要因については、2024年3月31日に終了する会計年度の年次報告書（Form 20-F）を含む、当社の米国証券取引委員会への提出書類で詳しく説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov。インフォシスは、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に記載された記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時追加する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社によって、または当社を代表して随時行われる将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 東京オフィス

担当 安藤 jo_ando@infosys.com